

総務経済常任委員会記録簿				
会議日程	令和8年4月13日 9:50~10:20			
場所	瀬戸内町役場4階 議員控室			
出席委員	元井委員長	中村副委員長	池田委員	伊東委員
	向野委員			
欠席委員				
説明のため出席した者の職氏名				
付議事件	・所管事務調査：農業振興に関する調査			
	・次期調査事項についての協議			
担当職員名	昇書記	委員長署名	元井 直志	
会議の概要				
<p>1. 調査の目的と進め方（中村副委員長による提案） 中村副委員長から、瀬戸内町の農業の実態を把握し、今後の支援策や提言に繋げるための具体的な調査フローが提案されました。 実態把握: 担当部署（農林課）から、農家数、経営形態（耕種、野菜、花き、畜産など）、主要作物の統計について聞き取りを行う。 支援策の把握: 町、県、国の支援策を体系的に整理し、把握する。 農家へのヒアリング: 認定農家などの経営実態、将来展望、行政に求める支援ニーズを直接聞き取る。 先進地視察: 課題克服に取り組んでいる他の自治体の事例を視察する。 提言の取りまとめ: 以上の調査を踏まえ、委員会としての提言をまとめる。</p> <p>2. 委員からの意見 委員: 調査事項が明確化されたことで分かりやすくなったと評価。また、調査の過程で委員自身が気づいた点や提案も、町への情報提供として盛り込むべきだと補足しました。 委員: 委員会の構成変更がある12月を最終報告の目標期限とすることを提案し、8月の市町村研修会なども活用した効率的な調査を促しました。</p> <p>3. 今後のスケジュール調整 最初のステップである「農林課からの聞き取り」の日程調整が行われました。 当初は4月中（21日など）が検討されましたが、委員の欠席予定や出張（東京での要望活動など）が重なり、調整が難航しました。 最終的に、事務局を通じて調整を進める前提で、5月11日（月）を第1回目の聞き取り調査の目処とすることで合意しました。 今回の会議では、これまで体系化されていなかった農業調査の枠組みを決定し、12月の最終報告に向けて動き出すことが確認されました。</p>				